



コウガの森・共和から

園長 小林 崇

夏が来た

小学校の夏休みが始まり、夏も本番。園の庭ではどろんこ遊び・プール遊び、色水遊び等、夏の遊びを楽しむ子どもたちの様子が見られます。園では、夏の一大イベントとして年長児のお泊り保育があります。今年、8月10日（木）・11日（金）に年長児・ばら組18名と引率職員4名で藤岡市鬼石にある「おにし青少年野外活動センター」を基地にして、2日間の冒険を行なってきます。

園でお泊り保育を始めたのは開設2年目の26年度のことでした。最初の年は園中での実施でしたが、昨年と一昨年は姉妹園の梅花保育園で行っていた課外での活動に合流し、共催の形をとって実施してきました。そして、今年は両園の人数が多いこともあり、それぞれが単独で実施します。

今年のお泊り保育では自然に親しむことを目的に、以下のような活動を行ないます。

1日目（晴れ）		2日目（晴れ）	
10時：川での生き物探し	12時：川の遡上（沢登り）	7時：朝の散歩	9時：森の探検・そりすべり
16時：カレーづくり	19時：キャンプファイヤー	11時：流しそうめん	12時：製作 キーホルダー

川の源流を目指し、岩や急流、深い淵を超え、目的地まで向かう沢登り。鉈や包丁を使い、一から調理するカレー作り。みんなで入るお風呂。楽しい活動、挑戦をする経験が2日間にぎっしり詰め込まれています。

2日間自然の中で様々な体験を経験しますが、私は親元を離れるということ自体が貴重な経験だと感じています。孤独に堪えることや自分で決断する場面を経験すること。他人の気持ちを考え、仲間と問題を乗り越えていく経験をすること。葛藤を経験する中で、達成感や自分に自信をもったり、相手に共感する気持ちをもったり、両親に感謝の気持ちを感じたりすることができる等、子どもたちが心の成長を果たせるよう職員も全力で向き合ってきたと考えています。

園のブログで活動の様子を発信していきますので、年齢外の保護者の皆様も是非ばら組の子どもたちの挑戦を応援して下さい。



去年のお泊り保育。1日目は天候に恵まれませんでした、充実した2日間を過ごしました。今年は晴れますように。